

氏名	小山 暁	所属	一般科目(理科系)	職位	准教授
----	------	----	-----------	----	-----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	50	<ul style="list-style-type: none"> ・担当科目 応用物理2, 応用物理学実験, リベラルアーツ特論(フーリエ変換入門) ・対面授業の為の教材開発を行う ・遠隔授業の為の教材開発を行う。 ・物理勉強会を実施する。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	20	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子ガラス転移の研究, ガラス状高分子のボゾンピークの研究, n-alkane 固相転移の研究を進める。 ・研究成果の、学会発表および論文執筆を行う。 ・科研費を含め、外部資金獲得を目指す。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	10	<ul style="list-style-type: none"> ・テニス部顧問
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	<ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室委員
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	10	<ul style="list-style-type: none"> ・日本物理学会, 高分子学会, 分子シミュレーション学会, 日本物理教育学会, American Physical Society
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名	小山 暁	所属		理科		職位	准教授	報告年度	令和 5 年度
分野	計画				実績				記載事項例
	エフォート	内容			エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	60	<ul style="list-style-type: none"> ・担当科目 応用物理2, 応用物理学実験, リベラルアーツ特論(フーリエ変換入門), 量子力学 ・対面授業の為の教材開発を行う ・遠隔授業の為の教材開発を行う。 ・物理勉強会を実施する。 			55	担当授業について、教材開発(対面・遠隔)を行った。試験前に、物理勉強会を開催した。編入試験対策の支援を行った。			担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導 学生数 教育方法改善内容
研究	10	<ul style="list-style-type: none"> ・高分子ガラス転移の研究, ガラス状高分子のボゾンピークの研究, n-alkane 固相転移の研究を進め, 学会発表および論文執筆を行う。 ・科研費を含め, 外部資金獲得を目指す。 			10	左記研究を進めた。論文執筆、外部資金獲得には至らなかった。			論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金
学生生活指導	10	<ul style="list-style-type: none"> ・テニス部顧問 			10	テニス部顧問として、高専体育大会 九州地区大会への引率を行った。			クラブ顧問 コンテスト指導
校務・管理運営	10	<ul style="list-style-type: none"> ・学生相談室委員 			20	学生相談室員として、活動を行った。1E、1Cで「高専生の生活・勉強・目標」の題目の講話を行った。R6年度 仲間づくり講演会を計画した。			主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員
社会活動	10	<ul style="list-style-type: none"> ・日本物理学会, 高分子学会, 分子シミュレーション学会, 日本物理教育学会, American Physical Society 			5	学会へは、出席できなかった。			所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動

(注) エフォートは各職務にかかる(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。